

令和6年度 事業報告

第1 事業

令和6年度の経済状況は、賃上げ率が33年ぶりの高水準となり、国内総生産、設備投資が増加するなど回復の兆しを見せている。これまで続けてきた「コストカット型経済」から脱却し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行が期待される重要な分岐点にある。一方で、賃金上昇が物価高騰に追いつかず、実質賃金はマイナスの状態が続いている。タクシー事業においても燃料価格の高騰や人手不足等の影響により、需要の回復は鈍く、引き続き厳しい経営状況にある。

こうした中、タクシー事業の維持・継続の負担軽減のため、山口県に対し、人材確保に対応する第二種免許取得に要する費用負担の支援要望を行ったところである。会員事業者においては、コロナ禍に乗務員数が減少し、深刻な人手不足に直面する中、国民の安定的な生活の確保や社会の安定維持の観点から、日夜必死に事業を継続しつつ、公共交通機関の一翼を担っているところである。

「ライドシェア」と称する白タク行為を解禁しようとする動きは、コロナ禍で乗務員が減少したことで、タクシー供給不足が深刻化したことを理由に活発化しており、その解禁を求める議論は引き続き、デジタル行財政改革会議や規制改革推進会議において行われている。こうした動きに対し、ライドシェア解禁を求める声は依然として衰えていないことから、自由民主党山口県支部連合会に対して「ライドシェア新法制定の断固阻止」を求める要望書を提出した。

令和6年4月に改正された「自動車運転の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告示）については、その実施のための支援情報の周知を図るとともに、公共交通事業者にとって、交通安全・事故防止は、最大の使命であるという認識のもと、交通安全運動への参加や「無事故月間」を実施するなどの取り組みを行った。

また、過疎地域における「乗合タクシー」の普及・促進については、交通空白地を抱える自治体にとっては重要な課題であることから、「地域公共交通会議」等に積極的に出席し、乗合タクシーの活用促進となるよう取り組みを行った。

なお、当協会において、執行部及び専門委員会を中心に取り組んだものは次のとおり。

【物価高騰への対応について】

- (1) 山口県公共交通燃料価格高騰対策支援補助金事業の実施

【ライドシェア等への対応について】

- (1) 全タク連主催の委員会等へ出席し、「ライドシェア」等に関する情報把握に努めるとともに、会員事業者への情報提供を行った。
- (2) 令和6年10月に自由民主党山口県支部連合会に対して、「ライドシェア新法制定の断固阻止」に関する要望書を提出し支援要望を行った。

【利用促進・地域交通確保対策について】

- (1) 「タクシーの日」の取り組みとして「8月5日はタクシーの日」「安全で便利なタクシーをご利用ください」と記載したウェットティッシュ（9,000個）をタクシー利用者に配布し、利用促進を呼びかけた。
- (2) 「観光スポットお手軽タクシー」（新山口駅～秋吉台経由～萩市内）を継続実施した。また、「観光タクシープラン」のパンフレットの内容を最新情報に修正し、山口市内の観光協会へ配付し、利用促進を図った。
- (3) 米有力紙の「2024年に行くべき52カ所」で3番目に選ばれたため、山口市内の観光地を巡るコミュニティバスと周遊タクシーを組み合わせた運行（観光周遊1日乗車券）により観光客の交通手段の確保と利便性の向上を図った。
- (4) 地方自治体が主宰する地域公共交通会議等に積極的に参画し、地域住民の足の確保について協議するとともに、地域公共交通としての乗合タクシーへの転換（働きかけ）や情報交換を積極的に行った。

○地域公共交通会議等（書面協議を含む）

会議名称	開催数	会議名称	開催数
岩国市地域公共交通会議	3回	防府市地域公共交通活性化協議会	2回
和木町地域公共交通会議	1回	山口市地域公共交通会議	4回
周防大島町地域公共交通活性化協議会	5回	宇部市公共交通協議会	5回
柳井市地域公共交通協議会	7回	山陽小野田市地域公共交通会議	3回
上関町地域公共交通会議	3回	下関市地域公共交通協議会	7回
平生町地域公共交通協議会	3回	萩市地域公共交通会議	4回
光市地域公共交通会議	4回	阿武町地域公共交通会議	3回
下松市地域公共交通活性化協議会	4回	長門市地域公共交通会議	4回
周南市地域公共交通会議	2回	美祢市地域公共交通協議会	3回
田布施町地域公共交通協議会	3回		

- (5) ボランティア輸送への対応として、地方自治体が主宰する運営協議会に積極的に参画し、NPO等によるボランティア輸送について、道路運送法の厳格な運用を求めるとともに、タクシーによる対応の可能性を最大限追及した。

○運営協議会

協議会名称	開催数
下関市福祉有償運送運営協議会	1回

【交通安全・交通事故防止について】

(1) 交通安全運動等の実施

春・秋の全国交通安全運動、夏の交通安全県民運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検運動を実施し、各運動の重点目標を中心に取り組んだ。

○春の全国交通安全運動		
期 間	令和6年4月 6日(土)～4月15日(月)	10日間
○夏の交通安全県民運動		
期 間	令和6年7月11日(木)～7月20日(土)	10日間
○秋の全国交通安全運動		
期 間	令和6年9月21日(土)～9月30日(月)	10日間
○年末年始の交通安全県民運動		
期 間	令和6年12月10日(火)～令和7年1月3日(金)	25日間

(2) 山口県タクシー無事故月間の実施

年末年始の輸送繁忙期である令和6年12月1日(日)から令和7年1月31日(金)の2か月間を山口県タクシー無事故月間と定め、交通事故防止活動を推進した。

(3) 研修・講習への参加

「運行管理者等講習」(基礎・一般)及び「整備管理者研修」(選任前・選任後)、「適性診断」、「安全マネジメント講習」等への受講・受診について、「協会だより」等により参加の呼びかけを行い受講促進に努めた。

○運行管理者等講習(基礎)

開催日	開催地	受講者数
7月17日～19日	山口市	13名
1月15日～17日	山口市	6名
計	2回	19名

○運行管理者等講習(一般)

開催日	開催地	受講者数
7月25日	柳井市	13名
8月22日	周南市	17名
9月 6日	宇部市	4名
9月20日	山口市	11名
10月 4日	下関市	13名
11月22日	山口市	11名
2月 7日	山口市	7名
計	7回	76名

○整備管理者選任後研修

開催日	開催地	受講者数
10月16日	山口市	36名
11月22日	山口市	10名
1月15日	山口市	9名
計	3回	55名

○運行管理者試験（C B T試験・旅客）

開催期間	受験者数	合格者数	合格率
第1回（令和6年8月 3日～9月 6日）	42名	11名	26.2%
第2回（令和7年2月15日～3月16日）	29名	6名	20.7%
計	71名	17名	23.9%

○自動車運転者適性診断（タクシー事業者）

	一般	初任	適齢	特定	計
本 所	29名	133名	257名	8名	427名
ナスバネット	40名	11名	84名	—	135名
計	69名	144名	341名	8名	562名

(4) FM山口の「交差点及び道路横断中の交通事故防止」、「子供を交通事故から守ろう」をテーマとした「横断旗復活運動」に協賛し、設置個所や利用者が減りつつある横断旗の復活のため、「(一社) 山口県タクシー協会」の名称入り横断旗を設置し、子供を交通事故から守り、安全安心の地域づくりに寄与した。

【設置本数：令和6年度 県内30本（山口、萩地区において設置）】

【労務対策について】

- (1) 山口労働局による「自動車運転者時間管理等指導員」を活用したタクシー運転手の労働時間の管理について、各事業者への訪問指導を行い、乗務員の労働時間の適正管理について指導を行った。【令和6年度訪問指導実績：8事業者】
- (2) 山口県・山口運輸支局等と共催で、人手不足が深刻な公共交通の担い手確保に繋げるための「公共交通担い手確保ミニフェア」を開催し、来場者に対して、やりがいや働きやすさについてアピールした。【ミニフェア来場者25名】
- (3) 公共交通への理解を深め、就業へのきっかけづくりのため、山口県央連携都市圏域、山口市公共交通委員会、宇部市公共交通協議会主催の「バス・タクシー運転士体験会&就業説明フェア」において、山口地区や宇部地区の会員事業者が協力し、体験会参加者（山口会場30名、宇部会場16名）に対し、タクシーの魅力のアピールした。
- (4) 山口県内の交通団体、山口県・中国運輸局・山口労働局の行政等で組織する「バス・タクシー運転士確保対策連携協議会」の事業として、深刻化する運転士不足に対応するため「山口県バス・タクシー合同就職説明会&バス運転体験会」を開催し、来場者37名に対し、タクシーの業務内容や働き方など説明した。また、退職自衛官を対象とした業務説明会を開催し、タクシーの魅力のアピールした。
- (5) 自動車関係業務を知ってもらうために、中国運輸局山口運輸支局主催の「自衛隊退職予定者向け業種説明会」において、県協会や関係団体により、退職予定者12名に対しタクシーを含む自動車関係業務の魅力のアピールした。

【特定地域特措法等への対応について】

- (1) 令和6年9月に、準特定地域における適正化及び活性化事業の取り組み状況に関するフォローアップ調査を実施した。

【タクシー運転者登録制度への対応】

- (1) 山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に基づく新規運転者講習を、専任講師によって安全・法令・接遇教育等のカリキュラムに従い実施した。
- (2) 山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に基づく運転者証交付申請等に迅速に対応した。
- (3) 諮問委員会委員に対して、登録・講習実績等の報告を行うとともに、運転者登録制度に関する意見を伺い、登録事務を誠実に遂行した。

○登録実績

区 分 項 目		6年度実績	5年度実績	増 減
		件 数	件 数	件 数
登録申請		204	173	+31
運転者証交付		375	270	+105
運転者証訂正		447	456	-9
運転者証再交付		19	104	+85
原簿謄本交付		0	0	0
原簿閲覧		2	3	-1
業務経歴証明書交付		0	0	0
乗務証交付		2	1	+1
乗務証訂正		11	13	-2
乗務証再交付		0	0	0
登録取消		0	0	0
登録事項の 変更	免許証の有効期間等	447	456	-9
	事業者変更（会社異動）	171	97	+74
運転者証の返納		389	299	+90

○講習受講実績（年間24回実施）

区 分		6年度実績	5年度実績	増 減
新規講習受講者数		199	171	+28
地理講習受講者数		3	6	-3
合 計		202	177	+25

【広報活動について】

- (1) 交通安全運動期間中において、県民への交通安全思想の普及を図るため、ラジオ放送（FM山口、KRY山口放送）を通じ、交通事故防止を呼びかけた。
- (2) 毎月の行事、行政庁からの通達、全タク連からの指示や協会の取組み内容などタクシーを巡る状況や動きについて、毎月定期発行の「協会だより」により全会員に周知した。
- (3) 協会ホームページの内容を充実させ、利用者が検索や閲覧しやすい環境を整えた。

【その他】

島根原発の災害発生時における福祉タクシーによる緊急輸送に関する協定に基づく「防災業務関係者研修」については、今年度から通年で受講可能なWEB上での動画視聴による実施となったため、会員事業者へ当該研修の周知を図った。